

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）  
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業	大野市	13,502,827	7,600,000	
2	地域活性化措置	公立保育園維持運営事業	大野市	41,638,204	30,139,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業 （市道 大野駅春日木本線、大桜篠座上線）	大野市	13,739,000	12,000,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	市営バス和泉3線車両 購入事業	大野市	4,034,800	3,320,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	真名川憩いの島トイレ新築事業	大野市	1,050,500	880,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	あっ宝んど施設修繕事業	大野市	3,852,200	3,852,200	
7	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	阪谷第一簡易水道施設改良事業	大野市	14,971,000	12,800,000	
8	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	真名川憩いの島トイレ新築事業（用地購入）	大野市	531,957	500,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市					
交付金事業実施場所		大野市天神町					
交付金事業の概要		<p>大野市図書館では、生涯学習の一助として、図書資料の提供、各種講座、読書会等を行っています。また、近年では、子どもの読書活動の重要性から、児童サービスに重点をおいた事業も多数行っており、「大野市子ども読書活動推進計画」の実施主体として、市民全体に意識付けを行う役割を担っています。</p> <p>本補助金を活用し、大野市図書館の健全な維持運営を通じて、図書資料等の情報提供サービスの充実や学習機会を提供することで、市民の生涯学習推進を図りました。（人件費3人分、9ヶ月分）</p>					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関係する主要政策・施策                      第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度）                      基本施策1 結の心あふれる人づくり 施策2 生涯学習の推進                      目標：図書館の来館者数 87,500人（令和2年度）</p>					
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度	
	図書館の来館者数 87,500人(令和2年度)	図書館の来館者数 (人)	成果実績	人	73,835		
			目標値	人	87,500		
			達成度	%	84.4%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	新型コロナウイルス感染症による図書館の休館や利用制限の影響で、来館者数が減少しました。図書資料の充実や、状況に応じた本と触れ合う機会の提供により、目標来館者数を達成すること及び市民の生涯学習推進を図ります。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	図書館職員の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間(月))		活動実績	人	36	30	27
			活動見込	人	36	30	27
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費		19,080,409	13,793,234	13,502,827			
交付金充当額		11,430,000	10,419,000	7,600,000			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		11,430,000	10,419,000	7,600,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		図書館職員		13,502,827	
交付金事業の担当課室		大野市総務課					
交付金事業の評価課室		大野市総務課					

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
2	地域活性化措置	公立保育園維持運営事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市					
交付金事業実施場所		大野市朝日ほか2件					
交付金事業の概要		<p>荒島、阪谷、和泉の各保育園では、地域の特性を活かし、豊かな自然に親しみ、高齢者との世代間交流等を行うことで地域社会との関わりを深めています。子ども自らがその体験を通して、好奇心や探求心を抱き、自分で考え、そして自己表現できる”生きる力”を育むことを保育の目標としており、各地区の子育て支援の核的機能を果たしています。また、各保育園は市街地から約5～30km離れた村部～山間部にあり、各地区における子育て支援の一層の充実を図るためには、各保育園の健全な維持運営が不可欠です。</p> <p>本補助金を活用し、公立保育園の健全な維持運営を通じて、魅力的で独創的な保育を展開することにより、各地区の児童の心身共に健やかな成長を図りました。（人件費 3保育園 保育士6人、調理師3人 9ヶ月分）</p>					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策                      第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度）                      基本施策8 子どもと子育て家庭への支援 施策2 保育サービスの充実                      目標：保育を必要とする児童の入所率 100%（令和2年度）</p>					
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度	
	保育を必要とする児童の入所率 100%（令和2年度）	保育を必要とする児童の入所率（%）	成果実績	人	100		
			目標値	人	100		
			達成度	%	100.0%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>児童の入所率については例年通り目標を達成していますが、引き続き児童の心身共に健やかな成長を支えるため、魅力的かつ独創的な保育の展開を図ります。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	保育士・調理師の雇用量 （雇用人数（人）×雇用期間（月））	活動実績	人	108	100	81	
		活動見込	人	108	100	81	
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
	総事業費	49,155,660	49,406,848	41,638,204			
	交付金充当額	27,980,000	31,932,000	30,139,000			
	うち文部科学省分	0	0	0			
	うち経済産業省分	27,980,000	31,932,000	30,139,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		保育士・調理師		41,638,204	
交付金事業の担当課室		大野市総務課					
交付金事業の評価課室		大野市総務課					

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業（市道 大野駅春日本本線、大桜篠座上線）				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 春日 地係、篠座 地係（市道 大野駅春日本本線、大桜篠座上線）				
交付金事業の概要		損傷の激しい市道について、補助金を活用し公共下水道事業と連携して舗装補修を行うことで、市民の生活道路の安全性及び利便性を確保しました。 ・大野駅春日本本線、大桜篠座上線 R2:L798.2m 土工1式 表層工 A=2,815㎡ 不陸整正工 A=2,815㎡ 区画線設置工 1式				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：人にやさしい道路環境の創出 施策：生活道路の管理と整備 目標：損傷した市道の適切な補修による生活道路の安全性及び利便性の確保し、住民からの苦情の件数を0件にします。				
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度
	住民からの苦情報告件数0件	住民から市役所への当該道路への苦情件数	成果実績	人	0	
			目標値	人	0	
			達成度	%	100.0%	
	評価年度の設定理由					
	事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	損傷の激しい市道の舗装補修を行うことで、道路利用者の安全で円滑な通行に寄与することができました。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	
	大野駅春日本本線ほか1路線 L=798.2m	活動実績	m	798		
		活動見込	m	798		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等		令和2年度			備考	
総事業費		13,739,000				
交付金充当額		12,000,000				
うち文部科学省分		0				
うち経済産業省分		12,000,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
舗装補修工事		一般競争入札		株式会社 土本組（大野市）		13,739,000
交付金事業の担当課室		大野市建設整備課				
交付金事業の評価課室		大野市建設整備課				

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称																																																											
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	市営バス和泉3線車両 購入事業																																																											
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市																																																											
交付金事業実施場所		大野市一円（主に和泉地区）																																																											
交付金事業の概要		市営バス和泉3線は、和泉地区内や和泉地区と大野市街地間の移動手段の確保を担っており、特に移動制約者にとっては欠かせない路線となっております。しかしながら、当該路線は、大野市の中でも特に積雪が多い和泉地区を主に運行しており、現行車両は融雪剤による車体本体の腐食や老朽化（購入から18年経過、走行距離は279,145km）による損傷が激しいことから、地域住民の安全性と利便性確保のため車両の更新事業に本補助金を活用します。																																																											
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：公共交通手段の確保 施策：バス運行の充実 目標：市営バス和泉3線の年間乗客数 3,500人（令和2年度） （全体：大野市内バスの年間乗客数 36,000人（令和2年度））																																																											
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度																																																								
事業期間の設定理由																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>成果指標</th> <th></th> <th>単位</th> <th>評価年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市営バス和泉3線の年間乗客数3,500人（令和2年度）</td> <td rowspan="3">年間乗客数3,500人</td> <td>成果実績</td> <td>人</td> <td></td> <td>3,237</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>人</td> <td></td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td></td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td colspan="6">評価年度の設定理由</td> </tr> <tr> <td colspan="6">—</td> </tr> <tr> <td colspan="6">交付金事業の定性的な成果及び評価等</td> </tr> <tr> <td colspan="6">老朽化による損傷が激しかった市営バスの更新を行うことができ、利用者に対して安全、安心な運行を確保することができました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者数が軒並み減少している中、和泉3線は昨年より113人増となった。次年度も和泉3線での利用促進を図っていきます。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">評価に係る第三者機関等の活用の有無</td> </tr> <tr> <td colspan="6">無</td> </tr> </tbody> </table>						成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度	市営バス和泉3線の年間乗客数3,500人（令和2年度）	年間乗客数3,500人	成果実績	人		3,237	目標値	人		3,500	達成度	%		92.5%	評価年度の設定理由						—						交付金事業の定性的な成果及び評価等						老朽化による損傷が激しかった市営バスの更新を行うことができ、利用者に対して安全、安心な運行を確保することができました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者数が軒並み減少している中、和泉3線は昨年より113人増となった。次年度も和泉3線での利用促進を図っていきます。						評価に係る第三者機関等の活用の有無						無					
成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度																																																								
市営バス和泉3線の年間乗客数3,500人（令和2年度）	年間乗客数3,500人	成果実績	人		3,237																																																								
		目標値	人		3,500																																																								
		達成度	%		92.5%																																																								
評価年度の設定理由																																																													
—																																																													
交付金事業の定性的な成果及び評価等																																																													
老朽化による損傷が激しかった市営バスの更新を行うことができ、利用者に対して安全、安心な運行を確保することができました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者数が軒並み減少している中、和泉3線は昨年より113人増となった。次年度も和泉3線での利用促進を図っていきます。																																																													
評価に係る第三者機関等の活用の有無																																																													
無																																																													
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	令和2年度																																																								
		バス車両の更新（1台）	活動実績	台	1																																																								
			活動見込	台	1																																																								
			達成度	%	100.0%																																																								
交付金事業の総事業費等		令和2年度			備考																																																								
総事業費		4,034,000																																																											
交付金充当額		3,320,000																																																											
うち文部科学省分		0																																																											
うち経済産業省分		3,320,000																																																											
交付金事業の契約の概要																																																													
契約の目的		契約の方法		契約の相手方																																																									
車両購入		指名競争入札		有限会社タッカー（大野市）																																																									
				契約金額																																																									
				4,034,000																																																									
交付金事業の担当課室		大野市交通住宅まちづくり課																																																											
交付金事業の評価課室		大野市交通住宅まちづくり課																																																											

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	真名川憩いの島トイレ新築事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市					
交付金事業実施場所		大野市中保地係					
交付金事業の概要		現在、真名川憩いの島（市屋外体育施設）には富田大橋下流側の左岸堤防外側にトイレが1カ所ありますが、富田大橋上流側の特にマレットゴルフ場から当該トイレまでは500m以上距離があり大変不便な状況です。そのため、真名川憩いの島富田大橋上流側の左岸堤防外側にトイレ1棟（男子小便器2、女子便器1、多目的トイレ1）を新設し、施設利用者の利便性向上を図ります。					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：活力あふれるスポーツ社会の実現 施策：スポーツ施設の整備と充実 目標：真名川憩いの島年間利用者数 15,000人（令和3年度）					
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和3年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度
		年間利用者数 15,000人	年間利用者数 15,000人	成果実績	人	—	
				目標値	人	15,000	
				達成度	%	0.0%	
		評価年度の設定理由					
		事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		令和2年度の年間利用者数は、5,947人と昨年度比▲3,302人となり、目標の15,000人を大きく下回っている状況です。この原因としては、新型コロナウイルス感染症により4,5月と施設利用が休止されたことや、大会等が中止になったことが挙げられます。令和3年度も新型コロナウイルスによる影響が懸念されるところではありますが、大会や教室等を開催するなど利用者数の増加を図っていきます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	令和2年度		
		トイレ新築 令和2年度：実施設計 令和3年度：建築		活動実績	式	1	
				活動見込	式	1	
				達成度	%	100.0%	
交付金事業の総事業費等		令和2年度				備考	
総事業費		1,050,500					
交付金充当額		880,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		880,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
実施設計		指名競争入札		(有) 西川建築設計事務所（大野市）		1,050,500	
交付金事業の担当課室		大野市スポーツ推進課					
交付金事業の評価課室		大野市スポーツ推進課					

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
6	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	あっ宝んど施設修繕事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 南新在家地係				
交付金事業の概要		大野市健康保養施設あっ宝んどの適切な管理運営のため、必要な施設修繕を行います。 厨房等空調改修修繕（厨房フードコート1台、厨房1台、休憩室1台）				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第5次大野市総合計画（平成23年度～平成32年度）基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心な町 基本施策9 保健予防と地域医療の推進 市民の健康づくり及び交流体験の場を提供していくことで市民の健康増進を一層推進します。 目標：健康保養施設（あっ宝んど）年間利用者数165,000人				
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	年間利用者数 165,000人	年間利用者数 165,000人	成果実績	人	117,096	
			目標値	人	165,000	
			達成度	%	71.0%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	当該施設および設備の修繕等を行うことにより、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の健康増進に寄与することができました。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	
	厨房等空調改修修繕 ・厨房（フードコート）1台 ・厨房（奥）1台 ・休憩室1台	活動実績	台	3		
		活動見込	台	3		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等		令和2年度			備考	
総事業費		3,852,200				
交付金充当額		3,852,000				
うち文部科学省分		0				
うち経済産業省分		3,852,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
改修修繕		指名競争入札		(株)マエガワ 代表取締役前川進蔵		3,852,200
交付金事業の担当課室		大野市健康長寿課				
交付金事業の評価課室		大野市健康長寿課				

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
7	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	阪谷第一簡易水道施設改良事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市					
交付金事業実施場所		大野市 葦道 地係					
交付金事業の概要		<p>安全で安心な飲料水を継続的に供給するとともに、今後必要となる施設更新費と維持管理費の縮減を図ります。</p> <p>取水井及びポンプの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源さく井工（SVP 300A×50m） 1式</li> <li>・ポンプ室工 1式</li> <li>・ポンプ整備工（φ50×35m×2.2KW×200V） 1式</li> </ul>					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>主要施策 第5次大野市総合計画 基本施策17 快適な生活関連の基盤整備 水道の整備</p> <p>目標 施設更新・維持管理費の縮減</p> <p>維持費C=200千円/年減</p>					
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
		維持費C=200千円/年減	電気料やポンプの維持管理費用	成果実績	円	205,851	
				目標値	円	200,000	
				達成度	%	102.9%	
		評価年度の設定理由					
		事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
本事業において取水井及びポンプを整備したことにより、今後も安全で安心な飲料水を市民に継続的に供給することが可能になりました。また、維持管理費について目標値を超えて縮減することができました。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	令和2年度		
		取水井及びポンプ整備 N=1式	活動実績	式	1		
			活動見込	式	1		
			達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等		令和2年度			備考		
総事業費		14,971,000					
交付金充当額		12,800,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		12,800,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額		
施設改良事業		一般競争入札	(有)乾川設備工業（大野市）		14,971,000		
交付金事業の担当課室		大野市上下水道課					
交付金事業の評価課室		大野市上下水道課					



II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
8	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	真名川憩いの島トイレ新築事業（用地購入）					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市					
交付金事業実施場所		大野市中保地係					
交付金事業の概要		現在、真名川憩いの島（市屋外体育施設）には富田大橋下流側の左岸堤防外側にトイレが1カ所ありますが、富田大橋上流側の特にマレットゴルフ場から当該トイレまでは500m以上距離があり大変不便な状況です。そのため、真名川憩いの島富田大橋上流側の左岸堤防外側にトイレ1棟（男子小便器2、女子便器1、多目的トイレ1）を新築するための、用地購入に本補助金を活用しました。					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：活力あふれるスポーツ社会の実現 施策：スポーツ施設の整備と充実 目標：真名川憩いの島年間利用者数 15,000人（令和3年度）					
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和3年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度
		年間利用者数 15,000人	年間利用者数 15,000人	成果実績	人	—	
				目標値	人	15,000	
				達成度	%	0.0%	
		評価年度の設定理由					
		令和2年度に用地購入、令和3年度に建築工事を実施予定であり、事業実施翌年度の効果を評価するため。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		令和2年度の年間利用者数は、5,947人と昨年度比▲3,302人となり、目標の15,000人を大きく下回っている状況です。この原因としては、新型コロナウイルス感染症により4,5月と施設利用が休止されたことや、大会等が中止になったことが挙げられます。令和3年度も新型コロナウイルスによる影響が懸念されるではありますが、大会や教室等を開催するなどし利用者数の増加を図っていきます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標			単位	令和2年度	
		トイレ新築 令和2年度：用地購入 令和3年度：建築		活動実績	件	1	
				活動見込	件	1	
		達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等		令和2年度			備考		
総事業費		531,957					
交付金充当額		500,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		500,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
用地購入		土地売買契約		土地所有者		531,957	
交付金事業の担当課室		大野市スポーツ推進課					
交付金事業の評価課室		大野市スポーツ推進課					